

穴水高校だより

石川県立穴水高等学校
令和7年1月9日発行

令和6年度第10号

3学期始業式～校長先生の式辞より抜粋～

「新年あけましておめでとうございます。」昨年はこの挨拶を交わすことが出来ませんでした。今こうして生徒の皆さんの笑顔を見ることができ、本当にうれしく思います。3学期も一人ひとりの目標達成に向け努力していきましょう。

さて、今年の箱根駅伝は皆さん観戦しましたか？私は、優勝争いにも当然関心はありますが、それ以上にシード権争いに注目して毎年TVを観ています。今年も期待通り、東京国際大、東洋大、帝京大、順天堂大の4校が8～11位を争い、残り23.0kmのアンカー勝負まで全く予想のつかない展開となりました。4校のうち1校がシード落ちとなるため、最後の最後まで各校アンカーの意地と意地とのぶつかり合いが見られました。そしてゴールテープが見える直線まで競り合いは続き、東京国際大が10時間54分55秒でゴール。続いて東洋大が1秒差で9位、帝京大が2秒差で10位、惜しくもシード権を逃した順天堂大は10時間55分05秒、10位との差は7秒でした。

2日間、往路・復路合わせて217.7kmを10人のランナーがタスキをつなぎ、1時間近く走って、僅か7秒に天国と地獄ほどの差があったのです。東洋大は総合第9位で、継続中では最長となる20年連続シード権を獲得しました。2011年第87回3連覇を狙った東洋大ですが、僅か21秒差で早稲田大に敗れました。その10日後、酒井監督は当時「山の神」と呼ばれた柏原竜二をキャプテンに指名し、「**その1秒をけずりだせ**」のスローガンを生み出します。箱根駅伝の敗戦を振り返ったとき、選手たちからは「全員が1秒、1秒を大切にしていれば…」といった言葉が聞かれました。「21秒」は1人でも何とかできる差です。でも、「俺が何とかできた」ではなく、「1秒をみんなで背負う」という思いから、「その1秒をけずりだせ」が誕生しました。思いを胸に挑んだ2012年第88回大会で王座奪還を果たし、「その1秒をけずりだせ」が東洋大らしさ、そしてチームカラーである「鉄紺の走り」につながっています。

東洋大陸上競技部は毎年七尾市で夏の強化合宿を行っており、私個人として大変親しみを持って応援している大学です。震災直後の2024年の第100回大会では4位入賞し復活の兆しを見せました。その後1月15日には選手、マネージャー、スタッフらが能登半島地震支援募金活動を行ってくれました。

「時間は平等に与えられるが、結果は平等ではない」

これは、元プロ野球監督の故野村克也氏の言葉で、平等かつ有限な資源である「時間」について語っている言葉です。世界中、老若男女を問わず、1日に与えられる時間は24時間であり、平等の時間です。1年365日(うるう年は366日)も揺るぎない事実です。時間の使い方で、結果や成果に差が生じ、勝負の肝心なところが隠されています。時間をどう使うか、どのように課題に立ち向かうか、どのような努力が可能なのかを真剣に考える必要があります。皆さんも自分の将来をしっかりと考え、その将来に向けて効果的な時間の過ごし方を今一度考えてみてください。

令和7年1月7日(火) 校長 島崎 康一

模 擬 投 票

12月18日(水)、1・2年生を対象に模擬投票が行われました。穴水町選挙管理委員会と石川県選挙管理委員会の方々に来ていただき、満18才からの選挙権行使に向けた選挙制度等について詳しく説明していただきました。

選挙の仕組みや意義について理解を深めた後、投票がどのようにして行われるのか実際の手順・流れについて説明を受け、石川県知事選で2人の立候補者の中から1人を選ぶという想定で行われました。

受付や投票管理者・立会人は生徒が務め、実際の場合と同様の手続きを踏み、生徒達は真剣な面持ちで、本当の選挙と同じ緊張感を味わいながら投票を行っていました。



シイタケハウス入室作業

12月11日(水)、シイタケハウス入室作業が行われました。

「のとりまき」栽培の一環として、5月に植菌した「ほだ木」をビニールハウスに入れる作業を2年生全員で行いました。地元生産農家の高森正治さん、県農林総合研究センターの八島武志さん、昨年まで日本きのこセンター技術主幹を務められていた平野伸夫さんらのご指導のもと、200本の「ほだ木」をハウスに移動した後、骨組のパイプの上にビニールシートをかぶせました。

曇り空の寒い日でしたが、全員で協力し合い、手際よく短時間で作業を終えることができました。生徒達は「地震のこともあって今年はできるのかなと思っていたけど、無事シイタケハウスを作ることができて良かったです。これからがんばって立派な『のとりまき』を育てていきたいです。」と感想を述べていました。



毎日水やりと袋かけを当番制で行っています。

福澤諭吉記念弁論大会

12月6日(金)、大分県中津市で福澤諭吉記念第63回全国高等学校弁論大会が行われ、本校弁論部の松本心和老师(2年)が**第2位の優秀賞(大分県知事賞)**を受賞しました。この大会は全国の高校生の弁論力の向上と大会を通じた交流を目的に毎年開催されているもので、一次の原稿審査を通過した全国の28人の弁士が競い合いました。

今回の優秀賞は令和元年に本校卒業生の竹中那琉世さん(当時1年生)が最優秀賞の慶應義塾賞を受賞して以来の入賞となりました。松本さんは来年夏に香川県で行われる全国高等学校総合文化祭弁論部門の出場を既に決めています。今後のさらなる飛躍に期待しています。



Merry Christmas

～のと里山空港でイベント参加～

12月22日(日)、のと里山空港でクリスマスイベントが行われ、本校生徒5人が「のと115」入りのピザパンや生シイタケ、干しシイタケを販売しました。

「のと115」入りのピザパンは穴水町のベーカリーH&Mさんがその日のイベントにあわせて特別に焼き上げて下さったもので、訪れたお客さん方に大好評で完売しました。



1 月行事予定

1(水)	元日	18(土)	大学入学共通テスト(～19日) ベネッセ総合学力テスト(1・2年)
6(月)	共通テスト演習(3年～16日)、定時退校日	19(日)	ベネッセ総合学力テスト(2年)
7(火)	3学期始業式、小論文模試(1・2年)	20(月)	共通テスト自己採点
8(水)	いじめアンケート調査、心と体の健康調査、体重測定週間 定時退校日	24(金)	学年末考査(3年)時間割発表、S C来校日(高) のとりまき収穫・出荷作業(2年、5限～)
10(金)	S C来校日(高) SC: スクールカウンセラー	25(土)	のとりまき初競り、三者面談(～26日)
13(月)	色覚検査(1・2年希望者～17日)	31(金)	学年末考査(3年)①、漢字検定(1・2年全員)
16(木)	百人一首大会、S C来校日(高田PM)		
17(金)	大学入学共通テスト出発、第3回英語検定(1次)		